

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称	特定微生物検査試薬キット「真菌カンジダ」
製品コード	LMP722
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証統括部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422

推奨用途及び使用上の制限 一般品

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日 H31.2.27、政府向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版(Ver1.1))を使用
GHS改訂4版を使用

物理化学的危険性

通常取り扱いでは、危険性は低い

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A (5)Extraction Reagent C(Ex C)

環境に対する有害性

水生環境有害性(長期間) 区分2 (5)Extraction Reagent C(Ex C)

水生環境有害性(長期間) 区分2 (4)Negative Control C(NC C)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報

強い眼刺激 (5)Extraction Reagent C(Ex C)
水生生物に毒性 (5)Extraction Reagent C(Ex C)
水生生物に毒性 (4)Negative Control C(NC C)
長期的影響により水生生物に毒性 (5)Extraction Reagent C(Ex C)
長期的影響により水生生物に毒性 (4)Negative Control C(NC C)

注意書き-(安全対策)

取扱後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。

注意書き-(応急措置)

眼に入った場合:
水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:
医師の診断/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合製品	
(1)DNA Amplification Reagent[Dried Form]	
化学物質・混合物区別	混合物
化学名又は一般名	CHES
濃度	非開示
化学特性(化学式)	非開示
CAS 番号	非開示
(2)Primer Mix. Candida(PM Ca)	
化学物質・混合物区別	混合物
化学名又は一般名	Tris緩衝液
濃度	非開示
化学特性(化学式)	非開示
CAS 番号	非開示
(3)Positive Control Candida(PC Ca)	
化学物質・混合物区別	混合物
化学名又は一般名	Tris緩衝液
濃度	非開示
化学特性(化学式)	非開示
CAS 番号	非開示
(4)Negative Control C(NC C)	
化学物質・混合物区別	混合物
化学名又は一般名	界面活性剤
化学特性(化学式)	非開示
CAS 番号	非開示
危険有害成分	Triton X-165
(5)Extraction Reagent C(Ex C)	
化学物質・混合物区別	混合物
化学名又は一般名	界面活性剤
化学特性(化学式)	非開示
CAS 番号	非開示
危険有害成分	Triton X-165

化学名又は一般名	Triton X-165
濃度または濃度範囲	約10% (4)Negative Control C(NC C) (5)Extraction Reagent C(Ex C)
分子式(分子量)	(C ₂ H ₄ O) _n C ₁₄ H ₂₂ O
CAS番号	9036-19-5
官報公示整理番号(化審法)	(7)-172
官報公示整理番号(安衛法)	公表化学物質(化審法番号を準用)

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	
吸入	データなし
皮膚	データなし
眼	データなし
経口摂取	データなし
最も重要な兆候及び症状	データなし
応急措置をする者の保護	救助者は保護マスク、保護手袋を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	データなし

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
-----	------------------------

使ってはならない消火剤	特になし
特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、 消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火活動は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項保護具及び緊急措置

	作業の際には適切な保護具を着用する。 こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収・中和	漏出した液は、できるだけ拭き取って回収し、こぼれたところを完全に拭き取る。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材	排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。
二次災害防止策	危険でなければ漏出物を回収すること。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
	安全取扱注意事項	漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。 適切な保護具を着用する
	接触回避	データなし
保管	適切な保管条件	2～8℃で保管する
	技術的対策	特になし
	混触禁止物質	データなし
	安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	ACGIH(TLV)	データなし
	日本産業衛生学会	設定されていない
設備対策		蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具	呼吸器の保護具	保護マスク
	手の保護具	保護手袋
	目の保護具	保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

形状	(1)DNA Amplification Reagent[Dried Form]	固体
	(2)Primer Mix. Candida (PM Ca)	液体
	(3)Positive Control Candida (PC Ca)	液体
	(4)Negative Control C (NC C)	液体
	(5)Extraction Reagent C (Ex C)	液体
色	(1)DNA Amplification Reagent[Dried Form]	淡青色
	(2)Primer Mix. Candida (PM Ca)	無色澄明
	(3)Positive Control Candida (PC Ca)	無色澄明
	(4)Negative Control C (NC C)	無色澄明
	(5)Extraction Reagent C (Ex C)	無色澄明
臭い		無臭
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	不燃性
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度	水と混合する
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	指定の保管条件で6ヶ月安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	日光、熱、振動
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口	データなし
	経皮	データなし
	吸入:ガス	分類対象外
	吸入:蒸気	分類対象外
	吸入:粉じん及びミスト	分類対象外
皮膚腐食性及び刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		(5)Extraction Reagent C (Ex C) 分類根拠 加成方式が適用できる成分からの判定 眼区分2Aの成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2Aに該当
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
吸引性呼吸器有害性		分類対象外

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性(急性)	(4)Negative Control C (NC C) (5)Extraction Reagent C (Ex C) 分類根拠 藻類:(毒性乗率×10×区分1)+区分2が濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当
	水生環境有害性(長期間)	(4)Negative Control C (NC C) (5)Extraction Reagent C (Ex C) 分類根拠 (毒性乗率×10×区分1)+区分2が濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない
他の有害影響		データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	該当なし
国連品名	該当なし
国連危険有害性クラス	非該当
副次危険	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当

国内規制

海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
陸上規制情報	規制なし
特別安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、 転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に 行う。
緊急時応急措置指針番号	非該当

15. 適用法令

消防法	Triton X-165 指定可燃物(第4類危険物)
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化学物質管理促進法 (PRTR法)	Triton X-165 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(政令番号:1-408)

16. その他の情報

参考文献 各データ毎に記載

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。